


<b>10月</b> <small>例会</small> <b>山行報告書</b> <small>個人</small>			報告者 江頭 報告日 11月	参加メンバー 岸上(CL)、江頭
山域 頸城山地 山名 雨飾山	山行日 09年10月31日			

山行目的 秋の雨飾山で修行	コースタイム(天候:天気図記号)
---------------	------------------

配布先  
 集会:10  
 山行:1  
 リーダー  
 原紙:集  
 会担当者

ルート図(地図を見て正確に)



雨飾山  
1963m

2.5万分の1地図:雨飾山(富山)



10月31(土)快晴  
 08:05 登山口  
 09:15 荒菅沢  
 10:35 雨飾山頂上  
 11:00 頂上発  
 11:45 荒菅沢  
 12:40 登山口



五時間超のKさんの運転のおかげで、登山口に八時前に到着が許されるところの雨飾山幕営場周辺、錦秋の彩りである。天候は如何にと問われれば、予報による好天説に日本海に迫る故あって、雲が垂れてもやむなしか...この心配は無用の是に勝ることなき日本晴れ、日が昇って背中に放射がむしろ熱いくらいである。

そそくさと旅支度を整えて『出かけましょうか』。登山口に掲揚の中嶋警部原作と思しき、その写実性がすばらしい案内板を過ぐるには、曰く標高一九六三米、拙の出生西暦年と数値が符合するとは喜ばせてくれる。

大海川造作の湿地帯を水平木道でしばらく進み、最初の丸太椅子を横目にした処から高度を上げる。ぶなを主体にした自然林は落葉のためかさらに明るさがあり、雪の重みに湾曲するその幹根(もと)が逞(たくま)しい。このあたりで最初の休憩をとり、急登をしのぐ。大局的には一時間ほどかけて山麓を大きく斜登する形で荒菅沢に至り、その展望開ければ雨飾山頂直下の岩稜と深溪が足元まで運ぶ清流をさらに下に向けて継続している。『眺めが、いい』長めの、休憩をとって次の尾根に備える。

渡渉して徐々に尾根先へ向かいつつ高度を上げて、尾根では吹き上がる風が涼で心地よい。岩場と頑丈な丸太梯子攀じりの種目を終えると笹原の広がる平坦な地形となる。目前に雨飾の先端が見えており、先着の人々が立ちあるいは斜面につながっている。我々も早速最後の闘志一発とばかり、頑張る。三角点を触れば雪をまとった朝日、白馬鎧が西方に輝いていた。

Kさんは奥様手作り弁当、Eは市販のお稲荷さんなどをお食事も修行のひとつであることを思いながら頂戴し、満点の眺望にお別れして下山に取り掛かる。図らずも荒菅沢まで実質三名での降りとなり、是をあるがままに受入れて、お昼には登山口に戻った。Kさんに拙の意見を取り入れて頂き山田温泉大湯元にてゆっくりで汗を流す。お風呂上りに、下りの御仁、まとも見かけて驚いた。

リーダ  
 岸上  
 '09.11.11

作成  
 江頭  
 '09.11.03

<リーダー所見>  
 愛知県からは遠いため、なかなか足を運びづらいが、山頂からは北アルプスの山々が見え、心を和ませてくれる。距離は遠いが、登山口への道は良く、駐車場もあり、登山者としては嬉しい。往復10時間にも渡るドライブのため、疲れる反面、江頭さんといろんな深い話が出来て良かった。

"是をあるがままに受入れ、が大事ですね。